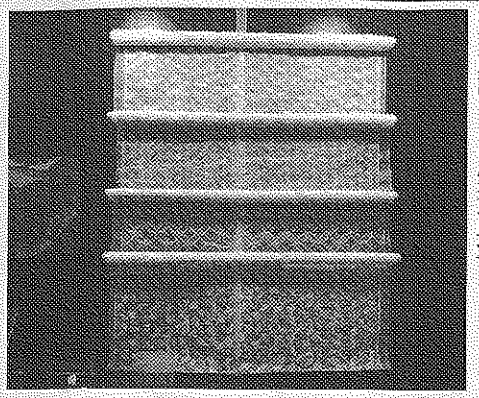
「絹ガラス」を発信

和の紋様、海外展開へ

伊と幸(京都)

和装用白生地の老舗メーカー、㈱伊と幸（京都市中京区御池通室町、北川幸社長）が開発した空間内装材「絹ガラス」が新たな装飾材として注目されている。透明感と意匠性に富む薄い絹織物を2枚のガラスに挟み込み合わせ加工した製品だ。

セミナー「日本のこころ」で和の紋様を紹介する関根さん



展示した多彩な絹織物

絹ガラスをアピールする永江さん

平安時代から続く「有職文様」を代表例に多彩な和の紋様が評判を呼び、外国人観光客の増大もあってホテルやレストラン、商業施設、医療・福祉施設からの受注が増えているという。同社は一部、海外生産を始めた。

伊と幸は、2月20～23日の間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた第47回国際ホテル・レストラン・ショーにブースを構えて出展。絹ガラスを使った壁材や間仕切り、テーブル、行燈、ミラーなどのほか、さまざまな意匠を施した生地を紹介し、絹ガラスの有用性をアピールした。

東京の私大を卒業した後、貿易会社に勤務した経験を持つ女性経営者の北川さんは、イベント初日の20日、特設会場で行われた国際観光施設協会主催のデザインセミナー「日本のこころ」に登壇し、「きもの白生地ブランドが語る、和の紋様に込められた想い」を披露。22日は絹ガラス事業部の関根隆寿さんが、よろけ縞、氷割、大王松菱、桜重ね、葡萄唐草など各種紋様を紹介した。

絹織物の高級白生地を手がける伊と幸は昭和6年（1931年）創業。絹ガラスは、シルクロード時代から続く紋様の美を広く世界に発信したいという創業者の孫、北川さんの発案で平成25年に誕生した。織物サイズでは建築資材として適性に欠けるため、その後、織元・加工元の協力で幅950～1500㍉の新たな生地を開発した。

大きな絹ガラス製品は、富山県高岡市の板ガラス加工メーカー、三芝硝材に加工を委託。

また、白生地は、合わせガラス以外に、アクリルパネルに挟み込んだ商品、グラスファイバーを裏張りしたランプシェードや間仕切りにも応用されている。

同社によると、最近はインバウンド需要の波に乗りイタリア、米国、中国など海外からの引き合いが増加。輸送の関係で白生地のみを送り現地加工メーカーに完成品の生産を託すケースも出始めた。

関根さんは「提携先を求めて社長が中東のドバイなど海外を飛び回っている」と話す。

ブースで来訪者に対応したガラス事業部主任の永江奈緒美さんは異業種への参入について「絹ガラスへの反応はいいが、和装はあくまでメイン事業として残す。ただ、絹ガラスの知名度をもっとあげたい」と話した。伊と幸は3月6～9日の間、東京ビッグサイトで開催の建築建材展にも出展。

三芝硝材に加工を委託

大会」開催

口俊雄氏

都市北区にある「しょうざんボウル」で、会員とその家族ら35人が参加してボウリング大会を開催した。会員らの懇親を図る目的で、役員らが知恵を絞り、今回の開催となった。朝9時半に全員集合し、高島理事長の始球では若い人が圧倒的に優れていたが、コントロールでは、昔取った杵柄の効果か、中高年の参加者のほうが勝っており、成績もそのとおりになった。なお、ハイスコアは202点をたたき出した高岡和彦氏。

開催となった。これからもこういう催し物を行いたいと思うので、皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。メーカーや地元卸店の協力もあり、参加者全員に賞品が配られた。大会は2ゲーム合計、個人戦のみ（男

▽優勝＝出口俊雄（㈱硝子）339▽3位＝三浦佳子（㈱三浦硝子）3

2位＝高岡和彦（有高岡）25▽4位＝谷田稔（有）ミノル住設）317▽5

P」

対応

発売

リンテック株式会社（東京都板橋区本町）は各種表示ラベルを小ロットから出力・発行できる可変情報印字用ラベル素

て選択できる可変情報印字用ラベル素材を「LVIP」ブランドとして発売して展開しているが、このほど、産業用デジタ

カード（HP）社のデジタル印刷機に対応したラベル素材を開発した。岩崎通信機、SCREENグラフィックソリューシ

気軽に
自由に選べます
OW
NDOW営業部
048)523-0171

板ガラス・サッシ・住器
各種建材・板ガラス・切断加工
新・ガラス建材商社
マテックスグループ
その窓に未来を描く
マテックス株式会社
ホームページ
http://www.matex-glass.co.jp
本　社　〒170-0012 東京都豊島区上池袋2-14-11
池袋支店　TEL.03-3916-1231　FAX.03-3916-2691
営業所　小金井・さいたま・草　加・横　浜